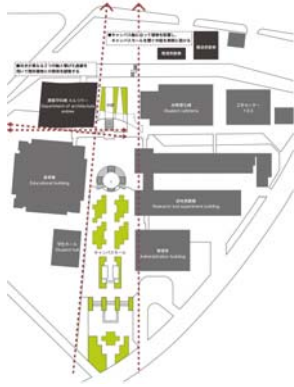


表彰対象建築物名称	静岡理工科大学建築学科棟 えんつりー			環境配慮の内容とその目的
建設地	袋井市			<p>■『開かれた建築の森／地域と共に学ぶ教室』</p> <p>静岡県内の大学で初めての総合建築学科となることを活かし、校舎自体が社会との接点となることを目指しています。性能的な環境配慮だけでなく、地域との連携を通じ、地域に貢献する人材を育むための「出会い・創造」の場所となることを意図しています。</p> <p>■周辺環境と呼応する建築のあり方</p> <p>既存建物の配置・構成やランドスケープを丁寧に読み取り、既存の軸線をいかす建物形状を生み出しています。キャンパスモールの中心軸に沿って「大きな軒下空間」を設け、人々が日常的に触れ合う広場とし、植栽計画も既存樹木との繋がりに配慮しました。</p> <p>■「生きた教材」となる学び舎</p> <p>校舎そのものが建築の教材となるよう、仕上げ材料や設備機器の取付け方法に配慮してデザインしています。様々な建築のエレメントを可視化することでメンテナンス性の向上にも寄与しています。</p> <p>■風土に根差した環境配慮のあり方</p> <p>基本的な省エネ性能を向上させるのはもちろんのこと、静岡の穏やかな気候を考慮した快適性の高い空間を計画しています。一次エネルギー消費量を40%削減した上で、現在の省エネWEB計算には反映されない自然採光や自然通風を採用し、室内環境の更なる向上を図っています。エネルギー性能の計算値だけを追い求めるのではなく、各階に軒下テラスやバルコニーを設け、季節に応じて様々な居場所で過ごすことができる「空間の豊かさ」を重視した設計としています。</p>
建築主	学校法人静岡理工科大学			
設計者	NASCA			
延べ面積	3,411.26 m <sup>2</sup>	規模	地上 4	
構造	鉄骨造			
用途	大学			
CASBEE評価	S	BEE値	3.2	
建築物写真				
建築主として求めた環境配慮に対する総合的なコンセプト	<p>■地域との連携を促進し、多様な魅力に満ち溢れた建築</p> <p>建築学科の教育に貢献する空間性や省エネ性能を確保するだけでなく、既存キャンパスとの繋がりや地域との共生など、この場所で過ごす人々にとって多様な魅力に溢れた建築と周辺環境の構築を目指すこと。</p>			

## 環境配慮の内容とその目的（補足資料）



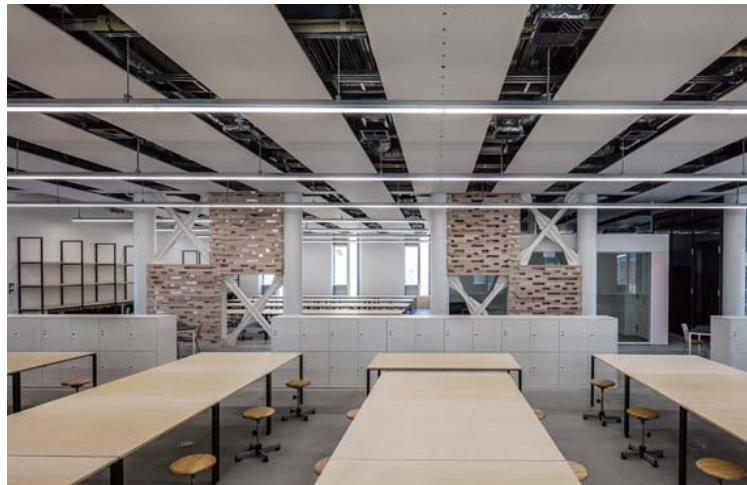
- 周辺環境に呼応する建築
  - ・既存キャンパスモールとの関係
  - ・モール沿いの軒下空間
  - ・キャンパス全景



- 地域と共に学ぶ教室
  - ・「出会い・創造」のきっかけとなるエントランスホール



- 「生きた教材」となる学び舎
  - ・様々な建築のエレメントが可視化された内部空間



- 風土に根差した環境配慮のあり方
  - ・人々のコミュニケーションを誘発する軒下テラス

